

色 絵 — 名工の美意識とわざ —

平成 27 年 6 月 2 日(火)～7 月 12 日(日)



時計回りに左上から、「色絵瑞鳥紋角皿」(二代松本佐吉・作)、「色鍋島花文花瓶」(十二代今泉今右衛門・作)、「色絵椿文中皿」(加藤土師萌・作)、「碧明釉壺」(三代徳田八十吉・作)

開館時間：午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日：月曜日

入館料：一般 300 円 (20 名以上の団体の場合 250 円)、高校生以下無料

(「こまつミュージアム・パス」使えます。)

ギャラリートーク：学芸員による展示解説。(こまつ再発見 DAY!)

6 月 13 日(土)、7 月 11 日(土) いずれも午前 11 時から、午後 2 時から。

小松市立本陣記念美術館 〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町 19 番地 電話 0761-22-3384

ホームページ <http://www.kcm.gr.jp/honjinkinen/>

※7 月 13 日～9 月 25 日、工事のため休館します。

小松市立本陣記念美術館は、小松市出身の本陣甚一氏より、氏が収集した美術コレクションが寄贈されたのを機に平成2年に開館しました。氏の亡くなった後、平成20年と26年に、ご遺族よりさらに約750点の作品の寄贈を受け、現在は約950点を数える優れたコレクションとなっています。

このたびの展覧会では、コレクションの内でも多数を誇る陶磁器（＝約590点）から、色絵の名工の手になる作品41点をご紹介します、その美意識と技に触れてもらいます。

九谷焼の名工と謳われた初代徳田八十吉、松本佐吉（初代・2代）、伝統技術と近代的感覚を見事に融合した北出塔次郎、陶彫にも古典にも明るく自由な表現を展開した中村翠恒、色鍋島の復興と継承に力を注いだ今泉今右衛門（12代・13代）、風雅な茶陶で知られる二代中村梅山、九谷焼初の文化勲章受章者二代浅蔵五十吉、色絵磁器の人間国宝・三代徳田八十吉、東京藝術大学で多数の後進を育てた人間国宝の加藤土師萌など、20世紀に活躍した陶芸家の、美意識と優れた技術を、どうぞお楽しみください。

《出品作》

「古九谷写意台鉢」	初代徳田八十吉	昭和前期	
「絵替中皿」	初代徳田八十吉	昭和前期	
「模古九谷鉢」	初代松本佐吉	明治43－昭和17年	
「色絵瑞鳥紋角皿」	二代松本佐吉	昭和38－55年頃	
「色絵閑庭図飾皿」	北出塔次郎	昭和39年	
「鯉額皿」	中村翠恒	昭和35－39年	
「猿置物」	中村翠恒	昭和30年	
「模乾山絵変銘々皿」	九代白井半七	昭和中期－後期	
「釉彩丸紋譜香炉」	二代浅蔵五十吉	昭和56－59年	
「色鍋島花文花瓶」	十二代今泉今右衛門	昭和23－50年	
「色絵椿文中皿」	加藤土師萌	昭和41年	
「桜流水之絵茶碗」	二代中村梅山	昭和40－60年	
「杜若之絵茶碗」	二代中村梅山	昭和40－60年	
「碧明釉壺」	三代徳田八十吉	昭和53－60年	ほか、計41点



アクセス

- ・JR北陸線小松駅より徒歩15分、又は市内循環バス乗車市役所前下車徒歩1分。
- ・北陸自動車道小松I.C.より約7分、小松市役所周辺駐車場より徒歩2分。

小松市立本陣記念美術館

小松市丸の内公園町19番地、芦城公園内 TEL0761-22-3384

<http://www.kcm.gr.jp/honjinken/>